

報告
水曜イブニングトーク
平成25年度のテーマ「銀座のアートと女性」
第3回「銀座の音楽空間」

9月4日（水）、東京藝術大学教授の塚原康子さんをゲストにお迎えして、今年度3回目の水曜イブニングトークが開催されました。

塚原さんは、色々な種類があった日本の音楽に、明治以降に西洋音楽が入ってきたことで、生活がどうかわったかなどを研究されてきたとのことでした。

前半は、明治期の東京における音楽ジャンルの移り変わりを見ていきまし。三味線音楽は下町地区（浅草区、日本橋区、京橋区）に集中していること、箏曲や謡曲は地域差が少ないことなど地域毎の違いや、教習指南者は女性が多くて実演者は男性が多いといった男女差についても説明がありました。

後半は、銀座界隈のゆかりの音と題して、延遠館で国寶を迎える際に海軍軍楽隊が儀礼曲として演奏した「ロシア国歌」や初代「君が代」、築地の居留地で学んだ近藤浜が詠んだ保育唱歌「山時鳥」などを聞きました。途中、ピアノを弾きながら保育唱歌の曲の作り方を説明されました。



塚原康子さん



報告
ほっと一息わたしの時間
「ココロとカラダのデトックス」
「茶禅にふれる」

茶禅草堂中国茶教室&サロンを主宰する岩咲ナオコさんをリーダーにお迎えした「茶禅にふれる会」には10名の「ママ」たちが参加されました。まずウエルカムティーをいただき、これからの1時間半の貴重な時間に期待が高まります。先生から中国茶の一番の作法はリラックスして楽しむことのお話があり、続いて「お茶を楽しむ」、「中国茶の楽しみ方」、「台湾茶の極意」と「台湾茶を美味しく淹れる茶器類」について丁寧な説明がありました。

いよいよ本日の「阿里山烏龍茶」と「凍頂貴妃烏龍茶」で実践です。小ぶりなかわいらしい茶器に入れた茶葉を見て楽しむ「賞茶」、香りを楽しむ「聞茶」、飲んで味わう「品茶」を一つひとつ進めていくとゆったりとした時間が流れていきました。リラックスしている中にも皆さんが真剣なまなざしで先生の所作を見つめているのが印象的でした。全員がお茶の縁で結ばれた「茶友」になりました。参加の皆さんから「これから暇をみつけて中国茶を楽しみたい」という感想が多く聞かれました。

区民事業協力スタッフ 橋谷信代



岩咲ナオコさん



報告
水曜イブニングトーク
平成25年度のテーマ「銀座のアートと女性」
第4回「日動画廊と銀座」
「女性画商の眼がみつめたこと」

水曜イブニングトークの今年度最終回のゲストは日動画廊副社長の長谷川智恵子さん。画商として手がけた仕事やヨーロッパの巨匠へのインタビューのエピソードを伺いました。

今では多くの女流画家が活躍する洋画界も、以前は創作と家庭の両立が難しく、画家同士のカップルでは、女性が絵をやめて家庭に入ってしまうことが多かったそうです。また、傲慢なダリと几帳面なミロの人柄を「都会のネズミと田舎のネズミ」に例えたり、どれも、長年第一線で活躍してきた長谷川さんならではの、楽しく重みのある心に響くお話でした。

本格的に美術の勉強をしたわけではない長谷川さんは、仕事で絵に触れないながら、「自分の目で見て美しいと思うものが良い」という価値観を身につけたそうです。世界中どこでも、画廊は教養・文化の溢れる街にあります。「銀座はいつまでも高級で大人の街、画廊が点在する街であってほしい。そして、たくさんの人にもっと気軽に画廊を訪れてほしい」と語られました。

区民事業協力スタッフ 脇坂文栄



長谷川智恵子さん



報告
区民事業協力スタッフ企画講座
浮世絵からみる江戸の女性

9月28日（土）、浮世絵の版元、伊場仙14代目当主、吉田誠男さんの講演会が開催されました。

伊場仙は、遠州（現浜松）伊場村より家康の江戸城入りとともに上京、仲間と江戸を開発した商人によって日本橋で創業しました。当時の大切な江戸古地図や浮世絵をみせていただきお話が始まりました。

浮世絵には版元、絵師、彫師、刷り師の四つの印が捺されているそうです。男女平等の教育は戦後なされたと思いますが、江戸時代のおいらんが手紙を読んでいる絵から当時の日本の識字率の高さが外国で評判になったり、泣き泣き婚家を去らなければならなかった三行半（離縁状）が再婚許可証であったり、おかみさんの力量で店への融資額が決定したりと家業と育児を両立させ積極的、意欲的な生き方をする女性が多かったようです。私たちも目標を鮮明に持ち、活動的にわくわくする人生を送りたいと話を伺いながら思いました。

区民事業協力スタッフ 田部井敦子



吉田誠男さん



報告 区民事業協力スタッフ企画講演会 忙しいパパのための3分間育児

10月19日(土)、育児・教育ジャーナリストおたとしまささんの講演会が開催されました。託児もあり、おんぶ姿、抱っこ姿、ベビーカー等のさまざまなパパやママが集まりました。

現在11歳の男の子と8歳の女の子の2児のパパであるおたとしまさん。ご自身の育児の経験から、パパの育児はママと違って当然。パパはパパらしく、時間がなくても3分間で子どもとの良い関係を築き、魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教える等、子どもの自立につながる育児のヒントをたくさん教えて頂きました。

参加されたパパやママで、紐、新聞紙、yogで出来る遊びをワイワイ考えました。玩具は買わなくても作れる!と和やかな雰囲気の中、講演会は終了しました。

質疑応答の時間ではたくさんのお父さん達から活発な質問があり盛り上がりました。

区民事業協力スタッフ 講演会班一同



おたとしまささん



おたとしまさんと事業協力スタッフ講演会班の皆さん

●ブーケ21では、1階にクランドレノを設置しています。区主催の講座や講演会開催前に、参加者へくつろいでいただくため、ボランティアでピアノ演奏をしてくださる方を募集します。演奏時間は10分程度です。詳しくは上記連絡先までお問い合わせください。

報告 「だれでもフォトグラファ」展

右手原石泉町では、UIFA JAPON (国際女性建築家会議日本支部) の支援で被災から復興の過程を、住民自らが写真によって記録するプロジェクトが進んでいます。ブーケ21では、2011年冬から翌年の冬までの写真を展示しました。レンズの向こうにふるさとへの思いと明日を生きる力を感じます。



報告 女性に対する暴力をなくす運動パネル展

毎年11月12日から25日までは「女性に対する暴力をなくす運動」週間です。これに伴い4会場(女性センター・中央区役所・日本橋区民センター・月島区民センター)で女性に対する暴力の根絶を呼びかける啓発パネル展を行いました。会場ではパープルリボンプロジェクトとして女性への暴力根絶を拡めるため「パープルリボンの木」を来場者の皆さんで作りました。



▲中央区役所



▲女性センター



STOP!
女性に対する暴力

平成26年1月から3月の講座ご案内

申込・連絡先

女性センター「ブーケ21」内 総務部総務課女性施策推進係
TEL 5543-0651 FAX 5543-0652 <http://www.city.chuo.lg.jp/>

講座名	日時	講師	内容	対象	区のおしらせ掲載号
中央区イクメン講座 託児 子どもを見えない敵から守ろう! ~予防接種と事故防止のお話(仮)	1月25日(土) 午前10時30分から12時	草川 功さん (聖路加国際病院 小児科医長)	大切な我が子の健康を守るための知識を身につけます。診察室では緊張して聞けないことなど、じっくりとわかりやすく小児科医からお話を伺います。	区内在住の乳幼児の父親・15名程度(先着順)・無料	1月1日号
男女共同参画講座 「私らしく生きるための～アサーティブ・トレーニング」(仮)全2回	1月29日(水) 2月 5日(水) 午後6時30分から8時30分	小柳茂子さん (相模女子大学人間 心理学科教授/フェ ミニニストセラピ なかもカウンセラー)	より良い人間関係を築くために、自分の本当の気持ちを整理し、自分も相手も大切にしながら、自分の気持ちを伝える方法を学びます。	区内在住・在勤・在学中で2回連続して参加できる女性・20名(先着順)・無料	1月1日号
中央区男女共同参画 助成事業講演会 「男と女のちょっといい話 ～心がなごむ法話～」	2月22日(土) 午後2時から4時	浦上哲也さん (俱生山なごみ庵 住職)	女優の保谷果菜子さんを妻にもち、妻の舞台では解説や音響、照明を務める浦上哲也さんに、互いに尊重し合い、ともに活動する夫婦のありかたや人生などについて伺います。	区内在住・在勤・在学者(優先)、その他関心のある方・60名(先着順)・無料	1月21日号
男女共同参画セミナー 「非正規労働をめぐるトラブル防止セミナー」全2回	前編 2月28日(金) 後編 3月 4日(火) 午後6時30分から8時30分	策 一郎さん (弁護士)	非正規労働に関わる最近の法改正のポイントやトラブル事例などを解説します。	労働者、テーマに関心のある方・60名(先着順)・無料	1月11日号
ひなまつりロビーコンサート	3月3日(月) 正午から午後1時	女性センター「ブーケ21」利用団体が出演	女性センター「ブーケ21」利用団体が演奏などを披露するほか、1階ロビーをつるし雛や春の花、絵手紙などで飾ります。	どなたでもご覧いただけます・無料	掲載無し
女性の再就労支援講座 託児 ブーケ21 働きたい女性のための「キャリア・カレッジ」全3回	第1回 1月16日(木) 第2回 2月 6日(木) 第3回 3月 6日(木) 午前9時30分から12時30分	栗原知女士 (キャリア・コンサル タント)	希望する講座のみの受講もできます。 第1回「適職を見つけて人生計画をたてよう」 第2回「応募書類の書き方と面接対策」 第3回「仕事のカンを取り戻すリハビリ」	区内在住・在勤・在学の女性(優先)、その他就職を希望する女性ならどなたでも 〈キャリア・カレッジ〉 各回50名(先着順)・無料 〈キャリア・カウンセリング〉 各回1名(先着順)・無料	12月1日号 (募集中)
「キャリア・カウンセリング」6回	①1月23日(木) ②1月30日(木) ③2月13日(木) ④2月20日(木) ⑤3月13日(木) ⑥3月20日(木) 午前9時30分、10時、10時30分、11時(午前10時、10時30分は託児の方優先) 一人ひとりの状況に応じた個別相談をキャリア・コンサルタントが担当します。				
男女共同参画講演会 託児 「浪江町から避難して心の復興と自立～あのととき・今・これから～」(仮)	3月15日(土) 午後2時から午後4時	伊藤まりさん (福島県浪江町避難者、 日本橋浜町生まれ)	福島県浪江町で町おこしや環境問題など地域活動の女性リーダーとして活躍していた講師から当時の活動の様子を伺います。突然活動を絶たれた方からの貴重なメッセージです。	区内在住・在勤・在学者、その他関心のある方・40名(先着順)・無料	2月11日号

託児 は定員あり

*会場は男女共同参画セミナーのみ中央区役所、その他はすべて女性センター「ブーケ21」です。
*募集は広報紙「区のおしらせ中央」発行後です。詳しくは広報紙「区のおしらせ中央」をご覧ください。

T O P I C S

中央区男女共同参画 リーダー研修 in 佐原

10月23日(水)、平成25年度男女共同参画リーダー研修が行われました。第6回を迎える今年の訪問地は、千葉県香取市佐原です。町おこしに尽力する佐原おかみさん会と交流し、「佐原まちぐるみ博物館」の見学では4か所をたずね、そこに暮らすおかみさんたちとお話しを伺いました。参加者の感想とおかみさんのインタビューをいくつかご紹介します。

▶佐原の中心を流れる小野川。さっば舟で町並みを楽しむこともできる。



▲交流会では、おかみさん会の発足、活動内容などを伺った。



▲福新呉服店は文化元年創業。8代目おかみさんにインタビュー。(♥)



▲忠敬茶屋は主に伊能忠敬に関する本や地図を展示。おかみさんは7代目。(◆)



▲おかみさんを囲んで(町並み交流館にて)



加納屋敷地店は昭和26年創業。屏風や甲冑を展示。(♣)



中村屋商店は明治7年創業。和風の手作り作品を展示。(♣)

佐原まちぐるみ博物館とは……その家に残る古い道具類や暮らしぶり、伝統の味や技、自慢の宝等をそれぞれの家で公開し、まちをまるごと博物館にしている活動です。現在博物館は42館、「佐原おかみさん会」が運営しています。

参加者の感想 おかみさんにお話しを伺って…

- 実際のおかみさんの生活の場でインタビューできたことがとてもよかった。大変だけど仲間と楽しく生きがいを感じて活動しているのは私たちと同じだ。
- 地域を愛し、地域の中で自分のポジションを確保すること、無理なくグループの中で活躍されていて素敵なことだと感じた。
- まちを愛する思いやお店の歴史を大切にしている思いが伝わった。「達成感」が前に進む原動力だが、家族の協力も欠かせないと思った。
- 自分のまちを愛して仲間ができて、「達成感」が次のエネルギーに向かう素晴らしい力になる。これからも女性のパワーで頑張ろうとエールを送りたい。

おかみさんのインタビューから

- Q おかみさん会に入って楽しかったこと**
- ♥ 達成感がある。人との出会い、仲間同士の横の繋がりが素晴らしい。友達ができた。
 - ◆ 達成感、充実感があり、自分を高めることができ、楽しい。
 - ♣ 「何々屋の奥さん」だったのが、名前で呼ばれるようになった。仲間との話し合いが自分を充実させてくれる。
 - ♠ 一つのイベントが終わった時の達成感、充実感が何とも言えない。世界観が広がった。
- Q おかみさんにとっておかみさん会とは**
- ♥ なくてはならないものとして生活の中心になっている。
 - ◆ 地元で育った方と嫁に来た方がまざっているのがいい。
 - ♠ ライフワーク、生きがい。次は何をしようかと考えると楽しい。
- Q おかみさん会に入ったきっかけ**
- ♣ 男社会で外に出にくい立場でしたが、女性の活動の場に心を動かされ、また、町おこしの視点にたって活動ができると思い参加。

館長

雑記

「佐原訪問」に思うこと

▶ 中央区リーダー研修にお伴して佐原のまちを訪ね、まちの活性化に活躍している「おかみさん会」の皆様と交流しました。まちの風情にも、おかみさん会の活動ぶりにも感激しましたが、それは、参加した方々の「報告」に詳しいでしょう。▶ 佐原は伊能忠敬の出身地としても知られています。記念館の資料をみると、彼は17歳のとき伊能家に養子に入り、50歳で隠居するまで家業に励みました。隠居し家督を息子に譲ったのち、江戸へ出て、天文学、測量術などを学び、10次にわたる測量を経て、「伊能図」を作成、死後3年になる1821(文政4)年、「大日本沿海輿地全図」が最終成果として幕府に上呈されました。「生涯学習」の模範生のような人だったわけです。黙々と自分の「やるべきこと」を遂行しながら、「やりたいこと」への意欲を絶やさず持ち続け、晩年に花を咲かせた彼の情熱は、私たちの心を強く揺さぶります。▶ 「やりたいことをやる」上での邪魔や問題が少なくなってきた今の時代に生きる私たちこそ、活動への情熱を持ち続けることを大切にしないといけなのかもしれません。(松川淳子)

女性センター「ブーケ21」へ来てみませんか？

女性センター「ブーケ21」は、男女共同参画推進のための活動を支援し、一人ひとりが自分らしく輝くことができる中央区をめざす施設です。女性、男性、どなたでもお気軽にお越しください。

- 〒104-0043 東京都中央区
湊一丁目1番1号
電話番号 03-5543-0651
ホームページ
<http://bouquet21.genki365.net/>
- ◆ 開館時間 午前9時～午後9時(12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く)
 - 東京メトロ日比谷線・JR京葉線 八丁堀下車 A2-B3 出口徒歩3分
 - 都バス「東15」(深川車庫⇄東京駅八重洲口・豊洲駅・明石町経由) 鉄砲洲下車 徒歩3分
 - 江戸バス「南循環」 鉄砲洲下車 徒歩3分
 - 入船三目下車 徒歩3分
 - 「北循環」八丁堀下車 徒歩3分

